

| | |
|----|---------------|
| 公表 | 事業所における自己評価結果 |
|----|---------------|

| | |
|------|---------------|
| 事業所名 | 仙台市大野田たんぽぽホーム |
|------|---------------|

公表日 令和7年3月21日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|-----------------|---|---|----|-----|---|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な時はパーテーションを使って区切っている ・設定によってはやや狭さを感じるが、廊下を利用したり他部屋を行き来するなどの工夫で解消 ・各クラス定員以下なため、広すぎても児が落ち着かないためちょうどいいと思う ・定員がMAXでもパーテーション等を使い衝突など危険のない動線を考えている | <ul style="list-style-type: none"> ・テーブルを移動するなどしてスペースは作れるが、きょうだいが参加する時には人数によって狭いので工夫が必要 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な時には主任や他クラスから応援をもらっている ・状況に合わせて人数を調整している ・職員間の役割を明確にすることで全体把握、子どもへの対応ができています | <ul style="list-style-type: none"> ・クラスが10名+きょうだい児が複数いる時のためにフリーの職員がいるといい ・適切だが、余裕がなく勉強会、面談、ミーティングなど母子分離の活動では一時的に足りないと感じることがある ・お子さんが未歩行の子が多い時期や全員登園した日などは丁寧に扱われるよう担当が4名だとい ・大変な時には園長や主任、空いている職員に声を掛けクラスに入ってもらった ・お子さんの特性によって十分な支援をしたいと考えると不足していると思う。また、きょうだい対応もしているため人数が不足していると感じることがある |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの様子に合わせて構造化を行い、分かりやすい環境を心がけている ・室内だけでなく園庭も遊びに合わせて場所を作っている ・1年間過ごす中で子どもの様子に合わせて構造化を変化させている ・視覚的に分かるようにドアにマークを貼ったり、必要に応じてスケジュール、手順紙、足型、カゴなどを使用している。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・活動後に日々清掃をしている。 ・クラスによってカーペットを敷いたり活動に合わせてパーテーションで仕切ったりした ・玩具の消毒など丁寧にを行った ・ごみを見つけたら拾うなど心掛けた | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・クールダウンのために廊下に出たり、空いている部屋を使用できる ・必要に応じ別室やパーテーションで区画を作り、個別のスペースを確保している | |
| 業務 改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・クラスごとに日々の反省と打合せで確認している。 ・面談、日々の業務の中で相談等している ・日々の反省や期ごとの指導計画で職員で確認できている | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを行い、どのように改善すればよいかを話し合っている | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・日々気付いたことをきいたり、各行事後の反省などで出た内容を次に活かせるようにしている ・個別の面談の機会を設けている | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・アーチルによる指導 ・アーチル訪問時や実地指導の時に客観的に見ていただき指摘があったことに対して改善策を確認している | |

| | | | | | |
|----------|---|--|--|--|---------------------------------------|
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・職員全体だけでなく、職種や立場によってそれぞれ研修を行っている ・受けてみたい研修はあるか等意見を聞いてもらえる。 ・定期的に研修がある ・必要な研修を受ける機会がある。法人内では段階に応じた研修を行っている ・希望した研修は受けられる体制はある ・様々な専門職の講師の研修を受け、学ぶ機会をもらった | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時にリーフレットを使い説明している ・入園し早めの時期にガイドで保護者に伝えている | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ整理票（アセスメント）を用いて、クラス+児発管で分析している ・会議の場だけでなく、日々の打ち合わせ反省の時に様子等職員で確認している ・複数の職員で確認共有し作成している ・アセスメントシートを使い、児の姿を確認して支援計画を作成している | ・ニーズや課題の分析が十分でなかったことがあり個人的に学ぶ機会が必要だった |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・支援会議でクラス職員と児発管と一緒に支援目標、内容を考えている | ・子どもの最善の利益が何なのかをもっと深く考えられるようにしていきたい |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・個別活動でも支援計画を意識してプログラムの立案を行っている ・個別活動では必ず支援計画から狙いを立て立案している ・日々の設定や個別活動を立案する際に支援計画を踏まえてねらいを設定している ・目標、支援内容をクラス内で一覧表にして活動に活かせるように工夫した | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・必要なお子さんには発達検査を実施 ・発達検査、アセスメント後は記録で必ず確認し、いつでも見られるようにファイルにとじている。 ・希望があった際には発達検査を行ったり、アセスメントシートを使用したり日々の反省の中でも確認している ・発達検査については保護者から動機などをきちんと聞き時期を話し合ってきた | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・支援会議で各項目についての目標及び支援内容を話し合いながら設定している | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議の中などで活動のねらいを確認している ・毎月クラス会議の中で立案している | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返すことで得られる変化もあるため、子共に合わせて検討している ・同じ遊びでも展開の仕方を変えているが、あえて同じ遊びを繰り返し行うこともある ・繰り返し設定しているのはなぜ繰り返すのかを保護者に説明した | |
| 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・集団活動のほか、個別活動（のびのび）が行われている ・支援内容の中にどのような場面で行うのかを記載している | | |
| 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・その日の活動の反省の際、次の活動の確認を行い、共通理解に努めている ・毎回反省のあと当日の朝行っている ・前日行い、変更点は当日に確認している | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|--|--|--|
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・要点を絞って必要なポイントにしっかり時間を使うようにしている ・共有し次回に活かすようにしている ・気づいた点、対応、次回の対応について話し合っている | ・振り返りの内容、気づいたところをもっと深めて話し合えるよう時間をうまく使いたい |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・日々のケース、活動日誌は必ず記入している ・情報を一人で抱えないように記録し共有してきた | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・チームで行っている ・モニタリングシートを使用し行っている | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | ・クラス職員、園長、主任等が参加している | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて地域の保健師などにつなげたりしている ・園長・地域相談員を中心に、家庭健康課や保育所、幼稚園などと連携が取れている ・ほけんだよりや必要に応じた医療先の情報を提供してきた | ・それぞれとの連携はあるかと思うが、わかりにくかった |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・交流会を行ったり、見学、引継ぎなど卒業訪問などを通して情報共有に努めている ・移行時母とも確認シートを作成している ・移行に向けて移行支援シートを作成しホームで行ってきた支援について引き継ぎを行っている | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | | | | |
| | 28 | (28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・通っている（在籍していた）子のケースを通じて事業所と支援について確認する場を設けることができた ・初期支援プログラムやペアレントプログラムなど他のセンターと一緒に開催したり、地域相談員連絡会等で共有している | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・外部の講師の先生からの研修を受ける機会がある ・アーチル訪問時に助言を受けたり、講師の先生をお招きしてケース検討会などを行っている | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | ・地域相談員が参加している | ・わからない |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は2回開催した ・こども園、児童館と交流する機会があった | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | | ・単独登園が続くと丁寧な共有が難しいことがあった。伝え合う方法や効率を考えたい |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者勉強会の機会は充実している。父向けの勉強会も行っている ・ペアトレや必要に応じて勉強会等を行っている ・保護者勉強会を系統化し、タイムリーに受けられるようにしている | | |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | ・契約時やガイドを通して行っている | | |
| 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者、お子さんの意向を確認している ・初期面談やモニタリングの機会に丁寧に聞き取ってきた | | |
| 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | ○ | | ・丁寧な説明をこころがけている | ・わかりやすい説明をこころがけ保護者が意見を出しやすい面談を行えるようにしたい | |

| | | | | | | |
|----------|--------------------------------------|--|---|---|--|--|
| 保護者への説明等 | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の会話や連絡ノート、面談の機会などを通して保護者のニーズに応えるよう心掛けている ・聞き取りやノートなどでは把握し面談等を行っている ・状況や必要に応じて他機関とつながれるようにしている | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・年に2回Hottとキッズを開催。長期休みの際の兄弟の預かりで交流の機会を設けている ・普段活動に参加できない保護者（父）同士の交流、きょうだいに参加する行事がある | |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任で難しい場合は園長・主任が対応している ・必要に応じ預かり保育等受け入れている | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回のおたより、活動予定、コラム、クラス懇談資料などを発行 | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・鍵付きキャビネットで個人情報を保管、職員同士のメールや外での会話でも十分気を付けている ・USBにはキーロックされている | ・名札など日々の活動で外したりするものは管理を徹底したい |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・電話での対応が難しい場合はメールでやり取りするなどの工夫をした ・保護者が分かりやすいように予定表を作成したり、必要に応じて筆談で確認した。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・園の行事に隣接することも園の子たちを招待した ・こども園の子を行事に招待し、定型発達の子の姿を見ることができた。 | ・地域住民に向けてというのは、園の特性上難しさを感じられるが、今後は保護者のご意見も踏まえて検討していきたい |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月避難訓練を実施。毎年年度初めにマニュアルを園内研修で確認している ・読み合わせ、会議をおこなっている | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・月に一度避難訓練・消火訓練を行っている | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・健康カードを提出してもらい保護者と確認している | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・クッキング等園で提供する場合は保護者と確認している ・心配なことは都度保護者と確認してきた | ・弁当持参で園で用意した食事の提供はないため、食事に関しては保護者の判断によることが多い |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの場面でのリスクについて、都度職員間で確認し予防の措置をとっている | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難計画を保護者全員に勉強会として周知 ・避難計画や避難訓練時に確認してきた ・安全計画の内容を保護者が閲覧できるようにしている | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・園長や職員からアドバイスをもらい再発防止につとめている ・ヒヤリハットのノートを作り回覧し共有している ・全体反省で伝えることで共有し防止策も一緒に検討した | |
| 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の虐待防止委員会で確認し、その場で対応を検討。虐待防止チェックリストの実施 ・毎月職員間で確認している ・毎月話し合う機会があったので確認できてよかった ・年度初めに研修を行っている | | |

| | | | | | |
|--|----|---|---|---|------------------------|
| | 53 | <p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。</p> | ○ | <p>・チャイルドシートやバギー利用中のベルトについて必要性は保護者や子どもと確認している。 ・虐待防止委員会と同時に身体拘束についても確認している。今年度は対象がないが、必要に応じて保護者と確認し支援計画に記載する（主に、チャイルドシートの使用について）</p> | <p>・今年度は該当するケースがない</p> |
|--|----|---|---|---|------------------------|